

news

高濃度ミネラル濃縮溶液の提案強化

完全オーガニック製法で抽出

APAコーポレーション



グレイトソルト湖... APAコーポレーション(愛知県安城市、566-931-1100)は、米国ユタ州にあるグレイトソルト湖の北側の湖水から抽出した70種類の高濃度イオン化ミネラル濃縮溶液「GLM濃縮溶液」を供給している。

「GLM濃縮溶液」は、ユタ州から採水許可を得て、最も品質が良いとされる湖の北側の地点より採取した湖水を使用。GRAS、NON-GMO、GMP、OMRI-Listed(有機材料審査機関による認定、米国農務省の承認)といった品質や安全性に関する各種認証を取得している。

また、同素材は薬品を一切使用せず自然な方法で塩分や重金属などの不要成分を除去し、イオン化させて抽出するといった安全な方法で製造。天然成分だけをイオン化させており、水溶性で身体への吸収率が高く効率的にミネラルを摂取できることも特徴だ。さらに、高濃度ミネラル特有の味

の刺激を緩和させるために最終工程で特殊加工を行い、毎日気軽に摂取できるような味にもこだわった(コップ1杯200ccに対し5、10滴を飲料水に入れて摂取する)。APAコーポレーションではこうした品質や安全性に関する認証なども「GLM濃縮溶液」の提案強化に努めている。

カゴメ(名古屋市中区)は10月30日、2020年12月期の第3四半期決算を発表。売上高は前年同期比1.7%増加の1368億8500万円

円、営業利益は10.3%増加の120億4000万円で増収増益だった。主力の飲料カゴメは、売り上げ収益が3.7%増加の564億9100万円、事業利益が47.6%増加の65億800万円と好調に推移。野菜飲料



「野菜」日これ一本も... 好調だったほか、

「野菜」日これ一本も... 好調に推移した。

の刺激を緩和させるために最終工程で特殊加工を行い、毎日気軽に摂取できるような味にもこだわった(コップ1杯200ccに対し5、10滴を飲料水に入れて摂取する)。

第3四半期飲料関連、3.7%増の564億円

カゴメ

本における野菜の摂取量を60g増やすことを目指す「野菜をどうもキャンペーン」を展開したと、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い消費者の健康意識が高まったことなどが売り上げ増加につながった。「野菜生活100」シリーズは、2月に発売した「Soy+」(ソイプラス)の写真が好調だったほか、

「野菜」日これ一本も... 好調に推移した。

「野菜」日これ一本も... 好調に推移した。

の刺激を緩和させるために最終工程で特殊加工を行い、毎日気軽に摂取できるような味にもこだわった(コップ1杯200ccに対し5、10滴を飲料水に入れて摂取する)。

第2四半期

外飲み需要急減



庭内食需要の増加により国内外で家庭用製品の販売は伸長したが、第3四半期はCVS店頭を中心とした販売となることから、特に都市部において販売機会の減少を強いられ苦戦した。

業績(2020年1月1日~2020年9月30日)として、連結売上高が1258億1400万円(前年同期比24.0%減)となったことを報告した。

年同期比65.8%減と前年を大きく下回る結果となった。POLAブランドでは、衛生管理や感染防止対策を徹底し、既存客を中心に来店回復を図って

第2四半期売上71億に上方修正

機能性表示でア...

焼津水産化学工業(静岡県焼津市)は、2021年3月期第2四半期の業績予想を上方修正した。第2四半期の売上高は当初予想より10%増の71億5000万円、営業利益は501.5%増の3億円。通期売上高は3.8%増の135億円、営業利益は230%増の3億3000万円と、

ともに前年を下回る結果